

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名	京極運輸商事株式会社	上場取引所	東・名
コード番号	9073	URL	https://www.kyogoku.co.jp/
代表者(役職名)	代表取締役社長	(氏名)	北山 剛規
問合せ先責任者(役職名)	常務取締役	(氏名)	立岩 敦
配当支払開始予定日	—	(TEL)	03-5825-7143
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,564	4.2	169	—	254	216.8	167	108.2
2025年3月期第3四半期	6,298	1.3	△4	—	80	23.2	80	180.1
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期	454百万円(-%)		2025年3月期第3四半期		△29百万円(-%)			
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
2026年3月期第3四半期	円	銭	円	銭				
2025年3月期第3四半期	58.19	—	—	—				

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	8,774	4,661	52.8	1,612.69
2025年3月期	8,169	4,241	51.7	1,467.82

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,636百万円 2025年3月期 4,220百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	8,855	5.1	180	963.9	243	133.9	163	57.0	56.70	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	3,200,000株	2025年3月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	325,299株	2025年3月期	325,299株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	2,874,701株	2025年3月期3Q	2,954,891株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資が堅調に推移したほか、継続的な貨上げの効果により実質賃金の減少に歯止めがかかり、個人消費にも緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、物価高止まりによる生活コストの上昇や、中国経済の停滞長期化、さらには米国の通商政策を巡る不確実性など、海外経済の下振れリスクによる先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、中国経済不振等により当社の主力である化学品輸送の需要減は継続しており、また、ドライバー不足という構造課題に変化は見られず、引き続き厳しい経営環境下にあります。

このような状況下、当社グループの売上高は、国内輸送事業における輸送数量の減少、国際物流事業における取扱数量の減少は継続しているものの、国内輸送事業を中心とした価格改定に加え、ドラム缶・ペール缶事業における更生缶販売が好調であること、タンク洗浄事業の工事が順調に完了していることから、売上高は6,564百万円と前年同四半期に比べ266百万円(4.2%)の増収となりました。

損益面につきましても、営業利益は169百万円と前年同四半期と比べ173百万円の増益、経常利益は254百万円と前年同四半期と比べ174百万円(216.8%)の増益となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は167百万円と前年同四半期と比べ87百万円(108.2%)の増益となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(イ) 国内輸送事業

車両故障による修繕費用の増加はあったものの、適正運賃受に向けた運賃交渉による価格改定により、増収・増益となりました。結果として、売上高は2,956百万円と前年同四半期と比べ72百万円(2.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は211百万円と前年同四半期と比べ28百万円(15.3%)の増益となりました。

(ロ) 国際物流事業

通関部門において、中国向けの輸出入が減少したものの、倉庫部門における保管料の価格改定により、増収・増益となりました。結果として、売上高は466百万円と前年同四半期と比べ10百万円(2.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は97百万円と前年同四半期と比べ15百万円(18.8%)の増益となりました。

(ハ) ドラム缶・ペール缶事業

ドラム缶販売部門における産廃用・化学品用の更生缶販売数量の増加により、増収・増益となりました。結果として、事業全体では売上高は1,869百万円と前年同四半期と比べ96百万円(5.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は73百万円と前年同四半期と比べ10百万円(16.8%)の増益となりました。

(ニ) エネルギー事業

石油販売においては取扱数量の減少により、減収・減益となりました。結果として、売上高は737百万円と前年同四半期と比べ84百万円(△10.3%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は2百万円と前年同四半期と比べ2百万円の減益(△45.2%)の減益となりました。

(ホ) タンク洗浄事業

前期末から仕掛け中の工事が順調に完了したこと、当期の受注増により、増収・増益となりました。結果として、売上高は535百万円と前年同四半期と比べ172百万円(47.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は114百万円と前年同四半期と比べ107百万円(1,643.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ605百万円増加し、8,774百万円となりました。これは、現金及び預金、投資有価証券の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ186百万円増加し、4,114百万円となりました。これは、未払費用、繰延税金負債の増加によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ419百万円増加し、4,661百万円となりました。これは、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日に公表した業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	880,727	1,159,062
受取手形、売掛金及び契約資産	1,384,214	1,337,605
リース投資資産	564	—
商品	10,145	11,243
原材料及び貯蔵品	22,587	18,913
半成工事	7,720	19,572
その他	226,255	220,851
流动資産合計	2,532,212	2,767,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,419,478	3,519,778
減価償却累計額	△2,774,237	△2,783,906
建物及び構築物（純額）	645,241	735,872
機械及び装置	408,765	388,752
減価償却累計額	△354,250	△335,976
機械及び装置（純額）	54,515	52,776
車両運搬具	2,937,760	2,823,180
減価償却累計額	△2,638,691	△2,573,493
車両運搬具（純額）	299,069	249,687
土地	1,588,549	1,588,549
リース資産	1,220,194	1,356,769
減価償却累計額	△298,857	△446,366
リース資産（純額）	921,337	910,403
建設仮勘定	107,265	17,442
その他	116,885	117,424
減価償却累計額	△95,881	△96,820
その他（純額）	21,004	20,605
有形固定資産合計	3,636,980	3,575,334
無形固定資産		
ソフトウエア	20,678	12,448
ソフトウエア仮勘定	—	10,000
その他	6,765	7,112
無形固定資産合計	27,443	29,560
投資その他の資産		
投資有価証券	1,797,449	2,231,752
繰延税金資産	4,509	2,512
その他	170,550	168,057
投資その他の資産合計	1,972,508	2,402,321
固定資産合計	5,636,931	6,007,215
資産合計	8,169,143	8,774,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745, 906	699, 117
短期借入金	839, 590	826, 000
リース債務	227, 532	240, 828
未払費用	207, 657	255, 278
未払法人税等	15, 810	62, 805
賞与引当金	145, 694	116, 073
その他	109, 990	195, 077
流動負債合計	2, 292, 179	2, 395, 177
固定負債		
長期借入金	5, 500	1, 000
リース債務	788, 220	766, 618
退職給付に係る負債	675, 967	655, 922
資産除去債務	52, 943	53, 201
繰延税金負債	97, 722	228, 607
その他	15, 267	13, 106
固定負債合計	1, 635, 619	1, 718, 454
負債合計	3, 927, 798	4, 113, 632
純資産の部		
株主資本		
資本金	50, 000	50, 000
資本剰余金	114, 995	114, 995
利益剰余金	3, 455, 668	3, 594, 189
自己株式	△186, 438	△186, 438
株主資本合計	3, 434, 225	3, 572, 745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788, 247	1, 068, 709
退職給付に係る調整累計額	△2, 918	△5, 439
その他の包括利益累計額合計	785, 329	1, 063, 270
非支配株主持分	21, 791	24, 813
純資産合計	4, 241, 345	4, 660, 829
負債純資産合計	8, 169, 143	8, 774, 461

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,297,783	6,563,524
売上原価	5,828,940	5,957,214
売上総利益	468,843	606,310
販売費及び一般管理費		
販売費	16,777	16,729
一般管理費	456,306	420,592
販売費及び一般管理費合計	473,083	437,321
営業利益又は営業損失(△)	△4,240	168,989
営業外収益		
受取利息	282	725
受取配当金	64,735	71,977
営業車両売却益	6,537	6,803
持分法による投資利益	14,912	11,952
補助金収入	5,632	5,885
軽油引取税交付金	5,813	4,731
その他	6,271	11,859
営業外収益合計	104,182	113,931
営業外費用		
支払利息	15,998	24,484
支払手数料	1,791	1,382
その他	1,854	2,696
営業外費用合計	19,643	28,562
経常利益	80,299	254,358
特別利益		
投資有価証券売却益	27,903	—
特別利益合計	27,903	—
特別損失		
固定資産除却損	—	10,346
特別損失合計	—	10,346
税金等調整前四半期純利益	108,202	244,012
法人税等	27,866	74,146
四半期純利益	80,336	169,866
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,344	167,268
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	2,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,441	294,064
退職給付に係る調整額	3,114	2,918
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,206	△13,047
その他の包括利益合計	△109,533	283,934
四半期包括利益	△29,197	453,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,351	450,649
非支配株主に係る四半期包括利益	154	3,152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送事業	国際物流事業	ドラム缶・ペール缶事業	エネルギー事業	タンク洗浄事業	
売上高						
貨物自動車運送	2,862,953	—	—	—	—	2,862,953
港湾運送及び通関	—	142,241	—	—	—	142,241
倉庫	—	313,570	—	—	—	313,570
ドラム缶販売	—	—	1,230,015	—	—	1,230,015
ドラム缶配送	—	—	543,332	—	—	543,332
石油販売	—	—	—	821,820	—	821,820
タンク洗浄	—	—	—	—	362,905	362,905
顧客との契約から生じる収益	2,862,953	455,811	1,773,347	821,820	362,905	6,276,836
その他の収益	20,947	—	—	—	—	20,947
外部顧客への売上高	2,883,900	455,811	1,773,347	821,820	362,905	6,297,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,406	1,590	—	170,448	—	180,444
計	2,892,306	457,401	1,773,347	992,268	362,905	6,478,227
セグメント利益	183,146	81,406	62,262	4,027	6,533	337,374

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	337,374
セグメント間取引消去	△37
全社費用(注)	△341,577
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△4,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	国内輸送事業	国際物流事業	ドラム缶・ペール缶事業	エネルギー事業	タンク洗浄事業	
売上高						
貨物自動車運送	2,936,130	—	—	—	—	2,936,130
港湾運送及び通関	—	126,694	—	—	—	126,694
倉庫	—	339,211	—	—	—	339,211
ドラム缶販売	—	—	1,341,904	—	—	1,341,904
ドラム缶配達	—	—	527,517	—	—	527,517
石油販売	—	—	—	737,434	—	737,434
タンク洗浄	—	—	—	—	534,905	534,905
顧客との契約から生じる収益	2,936,130	465,905	1,869,421	737,434	534,905	6,543,795
その他の収益	19,730	—	—	—	—	19,730
外部顧客への売上高	2,955,859	465,905	1,869,421	737,434	534,905	6,563,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,335	4,590	—	161,198	—	171,123
計	2,961,194	470,495	1,869,421	898,632	534,905	6,734,647
セグメント利益	211,079	96,747	72,726	2,206	113,914	496,673

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	496,673
セグメント間取引消去	81
全社費用(注)	△327,764
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	168,989

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	269,743千円	272,876千円